

2024年3月19日(日)

内閣官房 孤独孤立対策 官民連携プラットフォーム総会



# 「アートリップによる緩やかなつながり」



一般社団法人アーツアライブ代表理事  
尚美学園大学芸術情報学部准教授

林 容子

arts alive   
一般社団法人 アーツアライブ

創立 2009年

芸術の**創造性**と**非日常性**を通して  
認知症高齢者を含むあらゆる年齢層の人々を  
**エンパワー**し人生の最後の瞬間まで  
**尊厳を保ってその人らしく生きる**ことができる**共生社会**を構築

# Arts Alive活動内容



調査、研究



アート創作ワークショップ



Artrip (アートリップ)



人材育成



## 特徴

- ・ 瞬間を楽しみ、共有する(忘れてもいい)
- ・ 出来ないことでなく、できることに焦点を当てる  
(脳細胞の可塑性) 情動を刺激することで、新しい感情、興味が生まれる
- ・ 生きる尊厳を与える;エンパワーする  
個性、各人の現実をそのまま受け入れる。まず、肯定。アートの見方は多様、複数あっていい。
- ・ 社会との交流  
アートの前で全ての人とは平等  
アートを通じた社会との対等な交流  
他者への関心の芽生え  
認知症に対する社会の偏見を軽減

心地よい、緩やか繋がり・人間関係へ発展／社会の全ての人々に

# 1. 効果検証・治験

## ・うつの改善と認知力改善兆候（国立長寿医療研究センター）

平成25年度 経済産業省 地域ヘルスケア産業構築推進補助事業「創造的アートによる予防医療と生きがい創出事業」  
「基礎からわかる軽度認知障害(MCI)-効果的な認知症予防を目指して」 監修 鈴木隆雄 編集 島田裕之 医学書

## ・国際治験： A-Health (RCT) Japan (マギル大学長寿卓越センター)

美術館における参加型アート活動が在宅高齢者のQOL, フレイル、ウェルビーイングに与える効果を検証する  
国際治験 (RCT) に参画。2019年東京富士美術館で創作やアートリップに参加するグループ (介入群) と参加しないグループ (対照群) を比較した結果、介入群に顕著なQOLの向上とフレイル (虚弱) の改善兆候が見られた。

Front in Med., 06 July 2023 Sec. Family Medicine and Primary Care Volume 10 2023

## ・認知症の情動療法としてのアートリップ効果 (仙台富沢病院)

文化庁 令和2年度 文化施設強化事業 モデル事業A-2  
美術館等を対象とした「アールブリュット」の作品を題材とした情動活性化プログラム」

## 2. 多様な対象と場へのアプローチ

### 美術館

対象： 認知症当事者とご家族、介護者、一般  
国内38館で開催



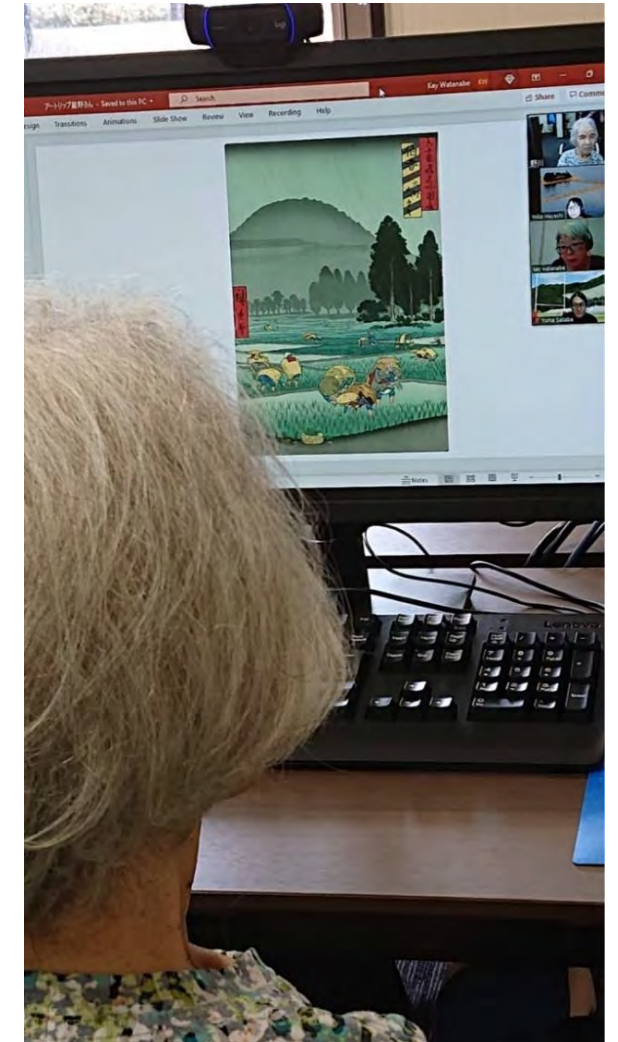
「昭和の子供たち」展  
栃木市立美術館にて 2024年1月

国立西洋美術館にて モネ「舟遊び」で  
2012年より2020年2月まで毎月開催

# 高齢者施設・病院



横浜市高齢福祉課委託事業「アトリップ」2023年11月28日  
「特別養護老人ホーム てるてる園」にて



「シニアステージ」(米子市米原)にて



**通常の企業アートプログラム**では  
「創造性(クリエイティビティ)の喚起」による「発想、企画力の強化」  
や「アート思考」が期待されている。

### 企業研修ACP は

ある企業では、年月とともに対象が拡充

- ◎最初はストレスチェックの数値の高い方々を対象  
→ 従業員の**ウェルネス**に貢献
  - ◎全ての従業員を対象  
→ 従業員の**部署間、世代間交流の促進**
  - ◎新人研修＋従業員だけでなくOB・OGも対象  
→ 従業員の日常生活の**社会的健康**に貢献
- 又、他の企業では、Diversity研修に





# 学校 教育／次の世代へ

対象： 私立女子聖学院 中学2年生 探求学習授業 テーマ：共生社会  
「本物に触れさせたい」  
「答えのないことについて生徒に考えさせたい」



講演「共生社会におけるアートリップ：  
これからの社会の主役になる後輩達へ」



写真提供：聖学院広報センター

アートリップ体験：10グループに分かれて同時体験。

感想：「みんな見方が違って面白かった」「言いたいことが言えてスッキリした。楽しかった」  
「人によって見方が違うことは、当たり前だと改めて思いました。とても楽しかったです。」

## 3. 人材育成

### アートコンダクター養成講座

少人数制（初級、中級は各10名まで）

総合的（アート、認知症、コミュニケーション）

実践的（提携介護施設3カ所での現場研修）

ピアレビュー（ベテランの認定アートコンダクターによる講評とコーチング）

認定制度： 認定後のフォローアップ、スキルアップの機会



# 課題について

## 継続のために

### ① アクセス

情報：参加していただきたい方への情報の告知、アプローチ  
場所：物理的に参加しやすい場所での開催

### ② 地域のアートコンダクター(プログラム実施者)の存在

### ③ 開催費用

・有償化が経済的に困難な場合 → 最低限での開催費用の模索

## 解決方法は？ **継続的な支援**

**経済的な支援** / 地域のリソース(官・民・学・個人)の活用

**参加者募集の支援** / 他団体との緊密なネットワーク

**開催場所の支援** / 地域のリソース(官・民・学・個人)の活用



認知症の  
うつ・イライラ  
を改善!

# アートリップ 入門

林 容子

一般社団法人 ArtsAlive 代表理事

対話型  
アート鑑賞  
プログラム



体験したい

- **ARTRIP CLUB** (一般向け)  
毎月2回 一時間 サブスク制  
単発 1100円
- **ARTRIP@HOME** (当時者と家族向け)  
毎月 第三水曜日 2時から3時  
ご家族単位: 3300円/回
- **A-Health** (一般クリエイティブエイジング)  
毎月 第三土曜日 10時から11時半  
3300円 \* 美術史ミニトーク付き

やり方を学びたい

・養成講座初級30期

2024年 6月22, 23日 東京で





ご静聴ありがとうございました。

Thank you for listening !

<http://www.artsalivejp.org>

[hayashi@artsalivejp.org](mailto:hayashi@artsalivejp.org)

